

平成28年度 地域ケアプラザ事業実績評価

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
原宿地域 ケアプラザ	(福) 聖母会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援体制整備部門の連携については、今年度より配置された生活支援コーディネーターも含め5職種が連携し、縦割りの業務実施とならないように常に意識していることが分かります。総合相談では、子ども・障害なども含め様々な相談が寄せられていますが、知識やネットワークを持ち合わせて総合的に対応しており、その結果、相談者の課題を解決するまでに至った事例もあります。各事業の実施にあたっては、5職種間で共有しながら進めていることで、地域ケアプラザとして一体的な事業展開が実施され、課題の解決や改善が図られています。今後も引き続き、職種間の連携を取りながら取り組んでください。 ・職員育成をサポートする体制が整えられており、資格取得や外部研修の受講、また休暇の取得推奨も行っており、働きやすい職場環境が職員の定着率の高さに繋がっています。 ・企業と連携して新たな手法で情報発信を実施しています。 ・自主企画事業では、企業と協働して講座を実施したほか、学習支援事業をサポートするボランティアグループの立ち上げ実施など、地域・学校・企業等、様々な分野の人や団体と連携することを大切にし、巻き込みながら事業を実現して、地域課題の解決及び地域福祉のネットワーク構築、ボランティア育成などにつなげています。

		<p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの職員が増員となり、新たな体制で取組を行っています。 ・職員間で情報を共有し、主担当職員不在時でも対応ができる体制をとっています。 ・成年後見制度の親族申立の説明・支援を丁寧に行っている。相談対応の方は年々増加傾向にあります。親族申し立てが難しい場合は区と連携し区長申立へつないでいます。 ・地域住民や介護予防健康講座参加者へ「遺言と成年後見制度」についての講演会を開催し、司法書士等への相談も含め個別相談へつなげています。 ・圏域が広いため、地域ケアプラザ会場だけではなく、地域の会場にて健康講座を開催し、参加者から好評を得られました。 ・生活支援体制整備事業で整理した情報から見えた課題をもとにして、介護予防講座にウォーキングを取り入れるなど、双方の事業が連携しながら展開されています。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターが積極的に地域に出向き、地域資源リストを作成しました。 ・地域ケア会議を活用し協議体を開催し、事業の説明や意見交換を行いました。 ・今年度2つめの協議体として、地域の活動団体や介護事業所による、インフォーマルサービスの情報提供やサービスの創出に向けた意見交換を行う交流会を実施しました。 ・よこはまシニアボランティア登録研修会を開催し担い手育成に努めるとともに、シニアボランティアの受け入れについて施設への働きかけを行いました。
--	--	--